

静岡県は、国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）の高度な技術シーズを活用し、成長産業分野の革新的な技術開発・新製品開発を行う県内企業を支援しています。

今回は、ナノセルロース、有機材料診断、バイオ分野と、県内の産業との親和性の高い分野の研究開発を行っている「産総研中国センター」に御協力をいただき開催します。是非ご参加ください。

日時： 令和5年12月14日（木） 13:30～15:40

内容：

- 講演 1 「産総研中国センターに設置されたMPI
有機・バイオ材料拠点の概要と取組のご紹介」**
産業技術総合研究所 中国センター 佐藤浩昭 所長
- 講演 2 「ナノセルロースの活用事例と最新研究開発状況のご紹介」**
機能化学研究部門 セルロース材料グループ 榊原圭太 研究グループ長
- 講演 3 「樹脂・ゴム材料の課題に化学で切りこむ材料診断技術」**
機能化学研究部門 有機材料診断グループ 青柳 将 研究グループ長
- 講演 4 「事業共創バイオものづくり
～バイオサーファクタントと静岡県内企業～」**
機能化学研究部門 バイオ変換グループ 森田友岳 研究グループ長

開催方法：Zoomウェビナーを用いたオンライン開催

申込み先：下記アドレスからお申し込みください ご登録
いただいたメールアドレスに接続先を送信します



お申し込みはこちらから

https://zoom.us/webinar/register/WN_gCpBi-MJTmml08kFNZccbA

**担当
(問合せ先)**

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6
静岡県 経済産業部 産業革新局新産業集積課 渡邊
[TEL] 054-221-3622
[E-mail] trc@pref.shizuoka.lg.jp

講演概要

講演 1 「産総研中国センターに設置されたMPI 有機・バイオ材料拠点の概要と取組のご紹介」 産業技術総合研究所 中国センター 佐藤浩昭 所長

我が国のマテリアル革新力強化戦略に基づいて、産総研中国センターにマテリアル・プロセスイノベーション（MPI）プラットフォームの有機・バイオ材料拠点が設置されました。本講演では、当拠点で行っている樹脂・ゴム等の有機材料やセルロース等のバイオ材料に関するモノづくりの最適化のための研究開発と、川上から川下までの多様な企業と共に行っている実証研究の事例をご紹介します。

講演 2 「ナノセルロースの活用事例と最新研究開発状況のご紹介」 機能化学研究部門 セルロース材料グループ 榊原圭太 研究グループ長

製紙パルプや農産物由来原料から製造されるナノセルロースは、樹脂・ゴム複合材料や食品など、幅広い分野への応用が期待されています。それぞれの用途には、最適な形や大きさがあります。また、材料性能を向上させるメカニズムなど、未解明な点もあります。本講演では、セルロース材料グループにおけるナノセルロースの社会実装を加速させる取り組み、コスト低減と分子レベルの特性解明に関する基盤技術開発状況をご紹介します。

講演 3 「樹脂・ゴム材料の課題に化学で切りこむ材料診断技術」 機能化学研究部門 有機材料診断グループ 青柳 将 研究グループ長

樹脂・ゴム材料が作り出す様々な外観・物性は、その化学構造や添加物、プロセスなどの要因の複雑な組み合わせにより生み出されます。今後ますます高まる製品特性への要求や、不具合への対応といった課題に対して、その性状、不具合の由来を理解し、手を打つことが「キモ」となってきます。本講演では材料の物性発現や耐久性を理解するためのカギとなる化学構造解析技術の開発の取り組みを事例を交えてご紹介します。

講演 4 「事業共創バイオものづくり ～バイオサーファクタントと静岡県内企業～」 機能化学研究部門 バイオ変換グループ 森田友岳 研究グループ長

バイオならではの機能を活かしたモノづくり技術を発展させ、新たな価値を創り出すバイオベース化学品・素材の開発を進めています。特に、『うまく作る』と『うまく使う』の両輪で、企業に寄り添い、新事業の創出から拡大まで支援・伴走することを特徴としています。本講演では、静岡県内企業が事業を進めているバイオサーファクタントの開発も実例として紹介します。